

企業成長のカギ

ビジョン  
経営戦略



組織の継続的な  
学習と変革

<成功の要因>

- ・ 組織内での活発なコミュニケーション
- ・ アイデアのシナジー効果



学習し、強い組織になる為には、自社の現状を共通認識として持つことが不可欠。

— 重要なことは自分たちの力で気づくこと —

自社の強みは何か。成長するために必要な課題は何か。

経営者ではなく、従業員自らが自社を分析することで、現場だからこそ見える強みや改善案が飛び出します。

経営者の考える自社の課題とのギャップを測るためにも有効な手段です。

— 目的の明確化と行動への動機付け —

自分たちで出した結果に対するアプローチは、高いモチベーションと自発的な行動の動機づけが期待できます。

行動の優先順位をつけやすく考えられた分析シートは、従業員の目的を共有させるために大きな効力を発揮します。

目的	➢ 自社の強みと課題の発見を通し自社の帰属意識を高める
効果	➢ SWOT分析手法を身に着けることができます ➢ 強み・弱み・機会・脅威のセグメントで自社への認識を改めることができます ➢ 活発な議論を通し、コミュニケーション能力を醸成します
対象	➢ 全従業員 ➢ 1回の研修につき、18名ほど(6人/グループ×3グループ)が理想。
時間	➢ 4時間/回(休憩含まず)

最大の特徴は細分化された分析シート

➢ 分析結果がそのまま行動計画表として活用できます

		機会				脅威			
会社情報									
強み									
弱み									

自社をクロスSWOTにかけ、144の項目で分析。  
課題を洗い出し、着手すべき優先順位を自らの手で決定していきます



GSI調査実施

グループ・スタイル・インベントリー(Group Style Inventory: 以下『GSI』)

- ① グループのメンバーが企業の経済活動を体験する過程で、如何に効果的に議論できたかを、12の軸を用いて採点、円環図表に表示する。
- ② チームビルディングで体験したことをその場でお互いにフィードバックし、グループの特性や問題点を洗い出す。



詳しい情報は・・・[こちらをクリック](#)

またはお電話03-3257-8848 まで